

私立大学図書館協会 2009 年度第 2 回常任幹事会議事要録

- 1 日 時 2009 年 12 月 4 日（金） 14 時 25 分 ～ 16 時 45 分
- 2 場 所 青山学院大学 総合研究所ビル 9 階 第 1 5 会議室
- 3 出席者 配付資料 1 のとおり

議事に先立ち、会長校関西大学図書館の北川館長（議長）より挨拶の後、出席者の自己紹介があった。

<報告事項>

1 協会会務報告

(1) 加盟校数について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき次の報告があった。

- ① 2009 年度加盟校数は 2009 年 4 月 1 日現在、東地区 259 校、西地区 261 校、合計 520 校である。
- ② 2010 年度新規加盟校（予定）は 2009 年 11 月 25 日現在、申し込みはない。
- ③ 2009 年 11 月 25 日現在、東地区 2 校、西地区 1 校の脱退届を受理した。
- ④ 2010 年度加盟校数（予定）は東地区 257 校、西地区 260 校、合計 517 校となる予定である。

(2) 加盟館名称変更（追加分）について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき、2010 年 11 月 25 日現在で次の 4 件の連絡があったことの報告があった。

東地区 ◎武蔵工業大学図書館

→ 東京都市大学図書館

当初、変更後の名称が東京都市大学世田谷キャンパス図書館として届出があったもの。10 月 15 日受付で 4 月 16 日に遡って訂正する。

◎目白大学新宿図書館

→ 目白大学図書館

西地区 ◎福岡経済大学図書館

→ 福岡経済大学図書館・情報センター

◎宝塚造形芸術大学図書館

→ 宝塚大学図書館 2010年4月1日付変更

(3) 未加盟校への勧誘について

会長校関西大学（金）より配付資料 2 にもとづき、本協会未加盟校に対して

会長校より以下の資料を10月30日付で送付し、加盟についての案内を行なったことならびに1件の問い合わせがあったことの報告があった。

- ・私立大学図書館協会への加盟について（案内）
- ・私立大学図書館協会について
- ・私立大学図書館協会会則
- ・私立大学図書館協会組織図
- ・私立大学図書館協会加盟校数一覧
- ・私立大学図書館協会東地区部会事業内容
- ・私立大学図書館協会西地区部会事業内容
- ・加盟申込書

(4) 加盟校への書類等の送付について

会長校関西大学（金）より配付資料3にもとづき、第1回東西合同役員会以後に以下の書類を加盟大学図書館宛に送付したことの報告があった。

① 9月7日付発送

- ・2010年度研究助成の募集について（お知らせ）
- ・2010年度研究助成応募要領
- ・課題研究のテーマについて
- ・私立大学図書館協会研究助成申込書（様式A～D）
- ・2009年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（再）

② 10月5日付発送

- ・2009年度協会賞受賞候補者の推薦について（依頼）
- ・2010年度海外派遣研修（長期研修）の参加募集について（お知らせ）
- ・2009年度第2回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）
- ・寄贈資料搬送申請書
- ・私立大学図書館協会会長の交代について（連絡）

③ 11月10日付発送

- ・「大学図書館協力における資料複製に関する契約書」について（通知）
- ・大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約書
- ・(別表) 大学図書館一覧
- ・大学図書館間協力における資料複製に関するガイドライン

この契約は毎年自動更新されるため年度ごとに契約書を交わすことはなかったが、今回は契約当事者が（株）日本著作権出版管理システム（JCL S）から出版者著作権管理機構（JCOPY）に変更になったため新たに契約書を交わすこととなった。

(5) 会報第132号の刊行について

会長校関西大学（金）より配付資料3にもとづき、標記について次の報告が

あった。

- ・会報第 132 号について、従来と同じ内容で 2009 年 9 月 8 日に刊行した。
- ・奇数号に協会総会・大会報告を掲載し、偶数号に東地区・西地区各々の会務報告・研究大会報告を掲載している。
- ・第 133 号は、現在、会報担当校（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）と総会当番校（佛教大学）で準備中である。

2 東地区部会会務報告

東地区部会長校青山学院大学（添田）から配付資料 4～5 にもとづき報告が行なわれた。

3 西地区部会会務報告

西地区部会長校同志社大学（上田）から配付資料 6～13 にもとづき報告が行なわれた。

4 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 14 にもとづき、協会賞の推薦受け付けは 2009 年 10 月 8 日（木）から 2010 年 1 月 29 日（金）までであることならびに 11 月 25 日現在で推薦がないことの報告があった。

(2) 研究助成委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 14 にもとづき、研究助成の申し込み受け付けは 2009 年 10 月 1 日（木）から 12 月 11 日（金）までであることならびに 11 月 25 日現在で申し込みがないことの報告があった。

(3) 国際図書館協力委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 14 にもとづき、会議報告ならびに 2009 年度海外集合研修派遣者の選考結果、2010 年度海外派遣研修参加者の派遣研修の募集状況、寄贈図書搬送事業、2010 年度国際図書館協力シンポジウム、国際図書館協力基金の協力依頼について報告があった。

(4) 協会ホームページ委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 15 にもとづき、会議報告ならびに WW 情報資源提供サービス利用状況について報告があった。

5 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 15～16 にもとづき主に学位論文の電子

化の実施について会議報告があった。

(2) 国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

会長校関西大学（北川）より配付資料 16 にもとづき、主に書籍・雑誌のデジタル化ならびに高騰化した電子ジャーナルの講読および地域医療に関する資料の整備について懇談したとの報告があった。

(3) 情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウムの後援について

会長校関西大学（金）より配付資料 16 にもとづき、昨年も同様の依頼があったことから本年も後援したとの報告があった。

6 2009 年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校関西大学（金）より配付資料 17～19 にもとづき異動の報告があった。

7 2010～2011 年 行事・会議予定について

会長校関西大学（金）より配付資料 20 にもとづき報告があった。

<協議事項>

1 2009 年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 21-25）にもとづき、2009 年 11 月 25 日現在の支出状況と決算見込みについて次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・前期研究助成委員会活動費の戻入ならびに第 70 回総会・研究大会からの戻入として合計 109 万円が見込まれる。
- ・運営費のうち事務費が赤字となる見込みである。
- ・次年度繰越金は前年度繰越金と比較して増える見込みである。
- ・研究助成特別会計は予算どおり 60 万円の収入を見込んでいる。
- ・国際図書館協力基金特別会計は現在 13 社から協力があり、さらに 6 社からの協力を見込んでいる。
- ・国際図書館協力基金特別会計のシンポジウム費が未執行である。
- ・国際図書館協力基金特別会計の搬送事業費のうち、第 1 回搬送事業において 2 件が未執行である。

協議の結果、異議なく了承された。

2 2010 年度事業計画（案）について

会長校関西大学（北川、金）より、配付資料 26～29 にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・これまでの協会事業を継承しつつ、図書館員育成ならびに諸外国の図書館

事情の調査・研究、協会活動の広報に関して新たな方策を提案したい。

- ・加盟図書館員の自己啓発を目的として「海外認定研修」を試行的に実施したい。

- ・協会ホームページにおいて電子掲示板の試験的運用を行ないたい。

以上の説明を受け、次のことが協議された。

- ・海外認定研修ならびに電子掲示板の運用について、関連する委員会に諮問すること

- ・掲示板の運用には記事の掲出規則の制定やセキュリティシステムなど管理態勢を検討すること

- ・予算の裏付けを検討すること

協議の結果、骨子が了承された。

3 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校関西大学（金）より、配付資料 30～33 にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・例年どおりの予算編成を行なった。

- ・協会賞は2件、研究助成はすでに決定しているものに加え新たに2件採用されるものと見込んでいる。

- ・2010年度事業計画（案）にもとづき新たに海外図書館調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費を設けたい。

- ・通信費および委員会費、総会・研究大会開催支援費、会報刊行費を減額し、海外図書館調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費に予算を組み入れたい。

以上の説明を受け、次のことが協議された。

- ・総会・研究大会特別会計について、参加者数および支出の詳細を会長校が当番校（西南学院大学）と打ち合わせを行ない、予算案を完成させること

- ・総会・研究大会開催支援費を減額したことの影響で赤字が出れば一般会計の予備費から補てんすること

協議の結果、骨子が了承された。

4 第71回（2010年度）総会・研究大会について

会長校関西大学（金）より、標記のスケジュールについて、配付資料 34～35 にもとづき、記念講演と講演（1）（2）を入れ換えたことならびに九州国立博物館を見学すること、個々の行事の時間を調整したことの説明があった。

協議の結果、会長校と当番校で詳細を詰めたうえでスケジュール案を完成させることで標記の骨子が了承された。

5 2009年度国際図書館協力シンポジウムについて

会長校関西大学（金）より、標記について配付資料 36 にもとづき次の説明があった。

- ・十分な準備をするため本年度は不開催としたい。
- ・過去にも 2 年間に 1 度だけ開催されている例があり、今回もやむをえないことと考える。

以上の説明を受け、次のことが協議された。

- ・講師の招聘について、日程調整や招聘費用で困難なことがあること
 - ・国際図書館協力委員会だけでなく、会長校としてもなるべく開催できるような対策を検討すること
- 協議の結果、異議なく了承された。

<懇談事項>

- 1 次期役員校、総会当番校の選出について
標記の選出状況について確認し、種々懇談を行った。
- 2 加盟館への宛名シール等の提供について
標記について、現行どおりシールで提供することならびに電子データの提供は行なわないことを確認し、種々懇談を行なった。
- 3 2010 年度協会脱退届の取り扱いについて
会長校関西大学（金）より、配付資料 37 にもとづき経緯の説明があり、今後同様の事例が発生したときの所作について種々懇談を行なった。また標記の 2 件の届については、やむをえないこととして対処することが確認された。
- 4 次期会長校の総会承認時期について
2010 年度総会において上程することが確認された。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。